

平成17・18年度施工予定区間に関するモニタリング調査項目

塩浜2丁目のH17・H18年度施工区間（約100m）を対象とする。

項目	目的	方法	時期（間隔）	数量等
波浪（流況）	護岸前面域の波浪（流況）状況変化の把握 ・波高・波向の計測 ・波浪流の計測（海底面上約1m）	波高・流速計の設置 （30日間連続観測）	①施工前：3月 ②施工後 秋季：9月 春季：3月	・護岸前面の1箇所（30日連続観測）
地形	・護岸部の張り出しによる周辺への物理的影響の把握 ・洗掘等による周辺地形の変化の把握等	地形測量	①施工前：3月 ②施工後 ・秋季：10月 ・春季：4月	・既設護岸法線から離岸距離100mまで ・施工範囲100mに対して5測線（20m間隔）
底質	粒径の変化の把握	採泥・粒度試験	地形と同じ	深淺測量の中央の1測線で10m間隔で採泥（11検体）
生物	潮間帯生物の定着状況 ※調査は公開とし、ライントラセクト法による観察は市民との協働で行うものとする。	ライントラセクト法による観察	①施工前：3月 ②施工後1ヶ月：10月 ③施工後3ヶ月：1月 ④施工後7ヶ月：4月 ⑤施工後1年：9月	・施工区の中央部に1測線、対照区として測線L-2の1測線（100m）の計2測線 ・石積護岸部（斜面上）： 方形枠（50cm×50cm）による連続目視観察 ・のり先から離岸距離10mまで1m間隔 ・のり先から離岸距離10～100mは10m間隔
		採取分析		
景観	・周辺域との景観の調和 ・石積へのごみの堆積状況の把握	委員、一般市民参加による見学会形式	施工後数回	実施時期については、完成後の経過時間と台風後などの状況を踏まえて決定する。

注1：各調査の継続年については、モニタリング結果を検証しながら決定していくものとする。

注2：実施時期（間隔）については、状況（現地天候、予算等）により若干の変更を行う場合がある。

モニタリング調査位置

